

こんにちは 議会 です

曾於市議会だより
第60号
令和2年5月1日発行



みんな元気だそお!!

打倒 新型コロナウイルス



成功させようかごじま国体

めざせ 天皇杯・皇后杯

みなさんこの大きな看板をみて
元気をだそお～ (P24参照)

令和2年度予算のゆくえは…… 2～8
(第1回定例会)
市政を問う…………… 9～22
曾於市の農産物と豊かな自然に魅せられて
(夢チャレンジ)…………… 24

第2回 定例会予定

6月 5日 開会
6月 9日～11日 一般質問
6月 23日 閉会

クローズアップ 新年度 予算

庁舎整備事業 1億1,668万円 (総額16億4,000万円)

本庁舎の増築工事等を行い、地震災害時における庁舎の機能整備と長寿命化等を図るもので



末吉総合体育館施設整備 2億413万円

建物が耐震基準を満たすことで、市民の安全確保につながります。



公営住宅整備事業 10億1,792万円

狭小、老朽化した大隅桜ヶ丘団地を解体し、新たに公営住宅及び共同施設を建設します。



宅地分譲地整備事業 7,203万円

定住人口増を実現するため、若者や家族世帯を主な対象として、UIJ ターン者を呼び込むための住環境の整備を行うものです。



旧岩川高校の整備 6億1,538万円 (総額23億8,071万円)

岩川小学校改築部分と避難拠点・防災倉庫整備部分に分けての整備になります。



農地耕作条件改善事業 5,010万円

大隅新田場地区における農地の区画拡大や暗渠排水整備などの耕作条件の改善を図ります。



第1回 定例会

会期 令和2年2月14日～3月23日

(39日間)

総合整備計画

全会一致 可決



辺地名	事業名及び事業内容	事業費 A	特定財源 B	一般財源 A-B	うち辺地債
古井・荒川内辺地 (令和2～6年度)	市道 荒川内・八ヶ代線 改良舗装事業 L=500m/W=5.0m	81,000		81,000	81,000
	市道 北俣・馬立線 改良舗装事業 L=150m/W=6.5m	26,000		26,000	26,000

辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定
当該辺地は、平成27年度から辺地総合計画を策定し、市道の整備を進めてきたが、令和元年度末で計画が終了となる。継続的に整備すべき区間を有することから、今回、令和2年度から5年間の総合整備計画を新たに策定するものである。

(単位:千円)

議案第3号

全会一致 可決

条例制定

辺地に係る公共的施設の総合整備計画変更
当該辺地は、平成30年度から辺地総合計画を策定し、市道2路線の整備を進めてきたが、新たな市道1路線の整備を追加する

ため総合整備計画を変更するものである。



凡例	
—	整備計画区間
—	改良済区間
—	未改良区間

(単位:千円)

辺地名	事業名及び事業内容	事業費 A	特定財源 B	一般財源 A-B	うち辺地債
高塚・桐原・溝ノ口 (平成30～令和4年度)	市道 桐原・溝ノ口線 改良舗装事業 L=320m/W=6.0m	(104,400)		(104,400)	(104,300)
		104,400		104,400	104,300
市道 高塚線 L=690m/W=5.0m	(76,841)		(76,841)	(76,600)	
	76,841		76,841	76,700	
市道 馬水・高塚線 橋梁 1橋 L=30.2m(W=6.0m)	(237,150)		(237,150)	(237,100)	0
	0		0	0	

問 他の地方自治体の条例制定状況は。

答 令和2年1月29日現在、全国では301自治体において条例が制定されており、県内では本市が初めての自治体になる。

問 これまで3万円支給していただが1万円の減額分の取扱いは。

答 市の一般会計により支給するため、これまでどおり3万円の支給である。

議案第2号

手話言語条例の制定
手話が言語であるとの認識に基づき、

手話の理解及び普及を図り、手話を使用しやすい環境を構築することにより、全ての市民が共生することができる地域社会を実現するため。

国民健康保険条例の一部改正
県内の統一的な国民健康保険の運営方針として「鹿児島県国民健康保険運営方針」が作成され、葬祭費の支給額が2万円に統一されたため条例を改正するものである。

議案第5号

手話を使用しやすい環境へ

葬祭費の支給額が県内統一へ

議案第3号

全会一致 可決

議案第11号

条例の一部改正

条例の一部改正

地域活性化のために

全会一致可決

議案第9号

改正 地域ミニミニ活性化推進条例の一部

小学校区や中学校区などの範囲において、自治会、町内会、

団など多様な主体が協働して地域課題の解決等に自主的・持続的に取り組んでいくための地域コミュニティ活性化推進計画の策定に伴い、関連する規定を改正するものである。

問 主な改正部分は。
答 地域コミユ二
ティ協議会設立を目
指すことである。

問　具体的にどの様に推進していくのか。

答　4月以降に各校区公民館長等を対象に説明会を開始し旧町に1カ所ずつ、3カ所にモデル地区の地域コミュニティ協議会設立準備委員会を設置したい。

問	空き家入居条件の規定は。
答	市外に2年以上の住民登録条件を削除し、市内在住者でも応募できるよう改定する。

議案第18号 市道路線の認定		市道路線の認定
路線名	地区名	
立馬中通3号線	大隅町	
大隅南団地線	大隅町	

【クリーンセンターの維持管理】

問 稼動状況は。

答 現在試験運転中で3月19日竣工予定である。

問 処理能力は。

答 一基当たり、従来よりも2t多い12tの処理が可能である。

問 耐用年数は。

答 現在9割出力でごみ処理をしているので、当初予定では15年だったが、20年は可能ではないかと試算している。

【コミュニティFMR放送局の運営】

問 放送局運営負担金の執行残1千万円の今後の考え方は。

答 令和2年度は2500万円予算計上しているが、市民のFMの聴取率調査や放送局長の選任も検討しての計上である。

議案第 18 号 市道路線の認定

路線名	地区名
立馬中通 3 号線	大隅町
大隅南団地線	大隅町

総務常任委員会所管分

り、工事発注が2月
以降になつた。

循環型社会形成推進
地域計画の終了は

応した事業の追加が
主なものである。

結果

賛成
可決

賛成
可決

【プレミアム無し商
品券好評】

給付費5.5%の伸び

問 極正の増減額は。

地域商品券発行

事業のプレミアム無
し商品券が好評であ
り750万円の補正

増、思いやりふるさ
と寄附金推進事業で
寄附額の50%以下に
経費を削除するよう
ある。

議案第20号
令和元年度
計補正予算(第5号)
国民健康保険特別会
(第5号)
特別会計補正予算

生活排水処理事業
事業費の確定及び
執行見込みによる増
減である。

議案第24号
令和元年度
全会一致 可決

【市債の追加】

市道の社会資本
整備総合交付金事業
と緊急災害防止対策

事業、小・中学校校
舎LAN整備事業で
ある。

ある。

保険税等の収入見
込みや執行見込みに
による増減である。

減である。

議案第24号
令和元年度
全会一致 可決

結果

賛成
可決

賛成
可決

【市債の追加】

主な内容は。

市道の社会資本
整備総合交付金事業
と緊急災害防止対策

事業、小・中学校校
舎LAN整備事業で
ある。

ある。

減である。

土屋議員は議長のため、表決には参加しない。

答 現年度発生農
地・農業用施設災害
復旧費の繰越明許費
補正の内容は。

12月まで、県の設計
審査が1月以降にな

り、広告料の減額で
ある。

【繰越明許費補正】

問 一般被保険者療
養給付金の増額は。
率1.5%で計上してい
たが、5.5%の伸びで
あつた。内容は、骨
折・脳梗塞・精神疾
患等の入院費の伸び
であり、単年度の特
別な事情である。

答 形成推進地域計画は
いつまでか。
令和4年3月31日で終了する。

問 細越明許費の追
加が多いのは。
災害発生によ
る事務量の多さであ
る。

【土木費国庫補助】

総額54億9,857万円の歳入歳出予算計上である。

問 細越明許費の追
加が多いのは。
災害発生によ
る事務量の多さであ
る。

答 総額54億9,857万円の歳入歳出予算計上である。

答 総額54億9,857万円の歳入歳出予算計上である。

【土木費国庫補助】

議案第34号
令和元年度
一般会計補正予算
(第9号)

議決結果一覧

件名		議員名	重久 昌樹	松ノ下 いづみ	鈴木 栄一	岩水 豊	渕合 昌昭	上村 龍生	宮迫 勝	伊地 知厚仁	原田 賢一郎	山田 義盛	大川 内富男	渡辺 利治	海野 隆平	久長 登良男	谷口 義則	迫 杉雄	徳峰 一成	結果
議案	第27号	令和2年度一般会計予算	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	○	●	○	○	賛成 可決
議案内容		平成31年度当初予算に対して34億7,500万円、14.8%増で総額269億500万円の歳入歳出予算計上である。(P2参照)																		
議案	第29号	令和2年度後期高齢者 医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	賛成 可決
議案内容		総額54億9,857万円の歳入歳出予算計上である。																		

区分	番号	件名	内容	結果
議 案	第1号	人権擁護委員候補者の推薦	現委員である永山たみ子氏の任期が令和2年6月30日をもって満了することに伴いその後任として山本ひとみ氏を推薦。任期は3年である。	適任
	第2号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定（財部町古井・荒川内辺地）	財部町古井・荒川内辺地の総合整備計画の策定。（P5を参照）	全会一致可決
	第3号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更（財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地）	財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地の総合整備計画の変更。（P5を参照）	全会一致可決
	第4号	宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する変更協定の締結	定住自立圏形成協定の変更。	全会一致可決
	第5号	曾於市手話言語条例の制定	手話言語条例を定めるもの。	全会一致可決
	第6号	曾於市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正	令和2年4月1日からの会計年度任用職員制度の導入に伴うもの。	全会一致可決
	第7号	曾於市職員の諸給与に関する条例の一部改正	令和2年度からの国の機関へ職員出向に伴う地域手当の新設に関する規定。	全会一致可決
	第8号	曾於市監査委員条例の一部改正	引用する条項において条ずれが生じたことに伴い関連する規定の改正。	全会一致可決
	第9号	曾於市地域コミュニティ活性化推進条例の一部改正	同条例に基づき策定した計画により、取組事項、認定基準等を定めるもの。	全会一致可決
	第10号	曾於市固定資産評価審査委員会条例の一部改正	引用する条項において条ずれが生じたことに伴い関連する規定の改正。	全会一致可決
	第11号	曾於市国民健康保険条例の一部改正	葬祭費の支給額が県内2万円に統一されたことに伴う一部改正。（P5参照）	全会一致可決
	第12号	曾於市有住宅条例の一部改正	住宅の用途廃止による規定改正。敷金の取扱いの規定等の改正。	全会一致可決
	第13号	曾於市営住宅条例の一部改正	公営住宅管理標準条例について修繕費用の負担等について改正。	全会一致可決
	第14号	曾於市地域振興住宅条例の一部改正	片平団地に1戸、下岡団地に1戸地域振興住宅を建設したことに伴う規定の改正。空き家入居条件が市内在住者でも応募できる規定の改正。（P6参照）	全会一致可決
	第15号	曾於市水道事業給水条例の一部改正	指定給水装置工事事業者の指定の有効期間が定められたことに伴う改正。	全会一致可決
	第16号	曾於市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	水道事業統合により2つの基金条例の廃止と笠木簡易水道事業の設置条例の廃止。審議会の庶務を公営企業会計職員に改正する。	全会一致可決
	第17号	財産の無償貸付け	（株）グローバルハートへの無償貸付け（P6参照）	全会一致可決
	第18号	曾於市道路線の認定	宅地分譲整備事業で整備した坂元地区及び大隅南地区の市道認定。	全会一致可決
	第19号	令和元年度曾於市一般会計補正予算（第8号）	予算総額から5億2,484万7千円減額するもの。	全会一致可決
	第20号	令和元年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	予算総額に1億3,769万2千円追加するもの。	全会一致可決
	第21号	令和元年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	予算総額から1,908万5千円減額するもの。	全会一致可決
	第22号	令和元年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第4号）	予算総額から1,710万7千円減額するもの。	全会一致可決
	第23号	令和元年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	予算総額から1,184万2千円減額するもの。	全会一致可決
	第24号	令和元年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第5号）	予算総額から2,589万4千円減額するもの。	全会一致可決
	第25号	令和元年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	予算総額に17万7千円追加するもの。	全会一致可決
	第26号	令和元年度曾於市水道事業会計補正予算（第5号）	執行見込みによる減額と国庫補助金を減額するもの。	全会一致可決
	第28号	令和2年度曾於市国民健康保険特別会計予算	予算の総額を54億9,857万3千円定めるもの。	全会一致可決
	第30号	令和2年度曾於市介護保険特別会計予算	予算の総額を56億4,027万6千円定めるもの。	全会一致可決
	第31号	令和2年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算	予算の総額を1億1,737万4千円定めるもの。	全会一致可決
	第32号	令和2年度曾於市水道事業予算	施設整備は、老朽管路の更新が主なものである。	全会一致修正可決
	第33号	令和2年度曾於市公共下水道事業会計予算	今年度より特別会計から公営企業会計へと移行するもの。	全会一致可決
	第34号	令和元年度曾於市一般会計補正予算（第9号）	歳入歳出予算総額に2億5,301万4千円追加するもの。	全会一致可決
	第35号	令和元年度曾於市水道事業会計補正予算（第6号）	水道管破損による損害賠償請求のため委託料が発生したもの。	全会一致可決
	第36号	令和元年度曾於市一般会計補正予算（第10号）	歳入歳出予算総額に2,138万9千円追加するもの。	全会一致可決

一般質問
13名の議員登壇

市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです

1. 徳峰 一成 (日本共産党) P10

○支所再編は見直しを ○職員の超過勤務

2. 上村 龍生 (創政会) P11

○本市における新型コロナウイルス感染対策
○本市の公共交通や思いやりバス・タクシーを補完する「支え合い交通」の考え

3. 渡辺 利治 (創政会) P12

○本庁舎及び支所庁舎の施設整備 ○農業公社

4. 重久 昌樹 (無所属自由クラブ) P13

○道路行政 ○多面的機能支払交付金事業

5. 久長 登良男 (新生会) P14

○市指定文化財 ○市役所本庁舎増築 ○JR新型観光列車

6. 海野 隆平 (無所属自由クラブ) P15

○新型コロナウイルス国内への拡散と市民不安の解消
○曾於高校進学祝金贈呈事業の見直し

7. 迫 杉雄 (誠和会) P16

○農地耕作条件改善事業 (寺園地区) ○農業振興 ○末吉中央公民館建設

8. 今鶴 治信 (新生会) P17

○燃ゆる感動かごしま国体 ○給食センター建設
○産業動物疾病制御教育研究センターの誘致

9. 松ノ下 いずみ (誠和会) P18

○JR大隅大川原駅に新型観光列車が停車、これに伴う取り組み ○芙蓉之塔

10. 渕合 昌昭 (新生会) P19

○有害鳥獣駆除対策 ○ふるさと納税 ○農業振興

11. 岩水 豊 (新生会) P20

○施政方針 ○旅館・ホテル施設誘致

12. 宮迫 勝 (日本共産党) P21

○本庁・支所機能再編計画 ○産業動物疾病制御教育研究センターの誘致
○高齢者の交通手段確保

13. 山田 義盛 (誠和会) P22

○宅地分譲整備事業 ○本庁・支所機能再編計画



支所再編の見直しを



とくみね 德峰 一成
(日本共産党)

本議会 一般質問の様子

市長／議会の意見は尊重したい

問 支所再編は合併後最大の事業だが、前回の市長選挙では、なぜ公約にしなかつたのか。

市長 当時は議論していなかつた。

問 議会に提出されたこの間の資料をみても、当時市は議論していたのでは。

市長 平成29年8月から内部検討を開始した。

問 旧3町の均衡ある発展をめざす立場で、本市と同じく一部分庁方式を残している九州内の15市について、調査や研修を行つたか。

市長 調査や研修は行つていらない。

問 気になる建設費の大幅増

	当初計画	増額分	令和2年3月
末吉本庁舎	11億3千万円	5億1千万円	16億4千万円
大隅支所庁舎	8億2千万円		
財部支所庁舎	4億6千万円		
岩川小学校	17億7千万円	4億4千万円	22億1千万円
末吉中央公民館	3億円	2億2千万円	5億2千万円

※大隅支所庁舎は大隅町中央公民館を含む

問 この金額で本当に建設できるのか。

市長 これまで精査してきた。これで進めたい。

問 職員の超過勤務

市長 意見は尊重する。

問 1ヶ月に、160時間以上の超過勤務の職員が3人いるのは。

市長 災害対応で大きな超過勤務となつた。

ちょっとひとりごと

支所再編では、市民の意見や世論が決定的に大事ではないでしょうか。

問 末吉本庁の事業費が、わずか3ヶ月間で5億円増額である。理由は。

市長 地震の揺れに強い免震構造の導入と、市民の皆様が一つのフロアで手続きが可能になるよう総合窓口の設置を検討している。

問 法律上問題はないか。

市長 法律には違反していない。ご家族の心配な声も聞いている。

問 未吉本庁の事業費が、わずか3ヶ月間で5億円増額である。理由は。

市長 地震の揺れに強い免震構造の導入と、市民の皆様が一つのフロアで手続きが可能になるよう総合窓口の設置を検討している。

問 教訓として今後の対策は。

市長 技術者の一部集約を図りながら、協力体制、支援体制及び資質の向上を図っていく。



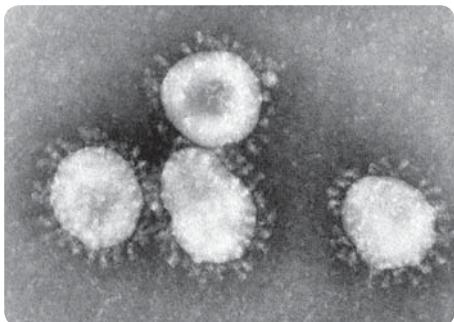
かみむら たつお
上村 龍生
(創政会)

本市の新型コロナウイルス対策は



本議会

一般質問の様子



最大限の注意を

市長／市民の不安を解消するため
万全を期す

問 本市の取り組みは。

市長 新型コロナウイルス健康管理部を設置し、今後の対策等について協議した。

機関への受診。過少にも過大にも評価せず冷静な行動を。

している。

問 高齢者等交通弱者の交通手段確保は

問 市民が発熱等で感染疑いの不安を覚えた場合の取るべき行動は。

問 人口減少時代に向け、本市の公共交通の主流である鹿児島交通の運行体制は維持できるか。

保健課長 37・5度以上発熱など風邪の症状が4日間以上続く場合は、保健所からの指示で医療

市長 鹿児島交通からは、「乗務員の確保が難しく、

今後の運行体制を維持するのは将来的に大変難しい状況である」との見解であった。

市長 車両の確保や人員体制から大変難しい。

問 人口減少が進むと今まで以上に高齢者等の交通弱者が点在する可能性があるが、どのように考えるか。



市民の大切な移動手段

問 市内の公共交通（思いやりバス・タクシー含む）を補完する手段として、地域交通空白・不便地域の解消を目指す「支え合い交通」について何らかの情報は。

市長 交通空白・不便地域が今後予想される中、本市の特性に合った地域交通の構築を研究したい。

問 鹿児島交通の運行体制が縮小された場合、本市の思いやりバス・タクシーでカバーすることは可能か。

市長 現在の路線上で利用者が増減しても、大きな問題は生じないが、この区域外で利活用することは大変難しく、新たな交通対策の必要性を痛感

ちょっとひとりごと

人口減少社会に対応できる体制つくりを！



特に本庁舎増築は市民の意見を聞いて



本議会 一般質問の様子

市長／計画的にする

本庁・支所の施設整備計画					
	事業年度	事業費	面積	場所	備考
本 庁 舎	令和2年～3年	16億4千万円	2階 2,300m ²	向江公園内	2Fは多目的ホール 会議室
大隅庁舎	令和4年～5年	8億2千万円	平屋 1,600m ²	文化会館近く	既存庁舎解体
財部庁舎	令和5年～6年	4億6千万円	平屋 800m ²	同敷地	西側除き解体

問 本庁・支所の施設整備計画は。

各施設の事業費と計画年度

	事業費	計画年度	備考
岩川小学校	23億8千万円	令和2年度	防災整備事業等を含む
末吉中央公民館	5億2千万円	令和2年度	
末吉総合体育館	2億円	令和2年度	
末吉小学校新築	19億7千万円	令和3年～8年度	
学校給食センター	13億5千万円	令和3年～5年度	
住宅購入費	10億1千万円	令和2年度	桜ヶ丘団地1棟38戸
庁舎合計	29億2千万円	令和2年～6年度	庁舎新築分

問 今後の事業を含めた市債残高と、全体のピークはいつか。

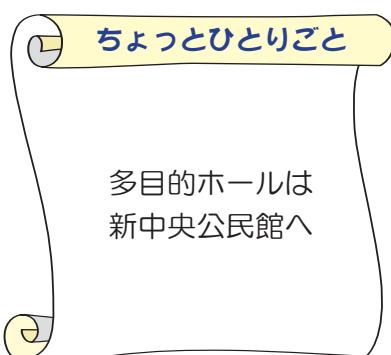


耐震補強中の本庁舎

問 同じく元利償還額と、ピーク年度は。

市長 32億円で令和2年度であるが7年度に一度大きくなる。

市長 269億8千万円で、令和3年度である。



市長 少ない自主財源で苦しくなると思う。

市長 離農する農家が増える中で公社の利用を促し、農家の所得増加や公社の事業収益を増やす。

問 農業公社の問題点は何か考えられるか。





通学路に関する要望書の内容は



市長／危険なため安全施設を設置してほしい

本議会 一般質問の様子

問 現場の対策は。

市長 通学路で危険なため安全施設を設置してほしいと要望があつた。

問 笠木小PTAからの要望書の内容は。

市長 交通量が多く幅員が狭く一部離合できない部分もある。

問 市道笠木・かんじん松線の旧玉利商店から土地改良区記念碑がある十字路までの区間の現状をどのように認識しているか。



改良が待たれる通学路

交付金支払時期

年度	支払時期		
	7月中旬	10月上旬	11月中旬
平成29年度	7月中旬	10月上旬	11月中旬
平成30年度	7月中旬	11月上旬	12月中旬
令和元年度	7月下旬	11月中旬	1月中旬

市長 次のとおりである。

問 多面的機能支払交付金事業 交付金の支払時期はいつか。

市長 外側線・ラバーポール及び路面標示で早い時期に対応する。通学路となる県道から約100mの区間は、局部的な改良は可能であると思う。早い時期に関係者等と協議をしていく。



水路の維持管理作業

ちょっとひとりごと

事務の効率化と活動組織の広域化を

市長 早く交付金支払いができるよう県に要望していく。

問 交付金の支払時期が遅いため、事業実施が遅れるなど支障がある。早い対応はできないか。

市長 事務処理が出来ない組織があるのも現状である。広域化を含めて検討していく。

問 高齢化や事務の複雑化、パソコンでの事務処理など、活動の継続や事務員の確保が困難になってきているのではないのか。旧町単位くらいで広域化し、事務員を確保でききないか。



財部城山（龍虎城跡）の整備は

本議会

一般質問の様子

教育長／検討して適切な対応をして
いきたい



問 市文化財で、直接市
が管理しているのは何力
所か。

教育長 現在、市指定文化財が88力所で、直接市が管理しているのは32力所である。

問 龍虎城跡の現状をどのように認識されているか

教育長 龍虎城跡は、市
指定文化財に指定された
山城跡である。

地元にとつて馴染みのある場所であるだけではなく、シンボル的な存在である。

問 歴史教育との関連についての考え方。

教育長 貴重な戦争遺跡
という一面も持つ、生き
た歴史的遺産でもあると

いうことを、地域の児童及び生徒並びに市内外の方に知つて貰いたいと考
えている。



龍虎城跡

市長 本年度は、本
舎増改築の許可申請、基
本実施設計委託、駐車場
整備の設計委託及び工事
造成工事等を計画してい
ます。

問 市役所本庁舎の増改築及び建て増し計画は。

市長 駅舎周辺の環境整備や、おもてなし計画として、観光協会、森の学校や地元公民館とも協議しながら進めていく。

市長 本市PRの絶好の機会と捉えていいる。
問 は。運行開始までの計画

今秋運行開始予定の
新型観光列車「36.ぶらす
3」が大隅大川原駅に停
車することの感想は。

る。令和3年度は、防災センター設備を備えた増築工事等、4年度は、外構工事や駐車場整備工事を計画している。

問 本市PRをどの様に考えるか。



大隅大川原駅

歴史教育にふさわしい 整備をしたいもんだ



新型コロナウイルスに対する市民の不安解消策は



本議会

一般質問の様子

問 新型コロナウイルスに対する市長の見解は。

市長 感染源や感染経路は調査中であるが、飛沫感染と接触感染が考えられる。

市長 感染源や感染経路は調査中であるが、飛沫感染と接触感染が考えられる。

防犯カメラの設置

問 防犯カメラの設置と必要性は。

市長 市民の安全確保上、場所によっては設置すべきである。

曾於高校進学祝金贈呈事業の見直し

問 平成30年度卒業生の大学進学者及び成績優秀者に対し条例に基づき、昨年12月23日に祝金が贈呈されている。対象者は何人で、事業費はいくらか。

教育長 祝金の対象者は、30万円贈呈が26人、5万円贈呈が9人である。事業費825万円であった。

教育長 外部評価員を入れ総合評価する。
9月までには結果を出したい。

市長／新型コロナウイルス対策本部を設置し、必要な措置や対応を行う

市長

曾於市新型コロナウイルス健康危機管理部を設置し、情報の共有化、

今後の対策実施等について協議した。

問 感染者が発生した場合の検疫体制を含めた各機関との連携は。

市長

本市の設置状況は。

市長 現在9施設33基設置している。

問 今後の設置予定は。

市長 通学路を含めて十分検討していきたい。

問 県内自治体の設置状況は。

市長 本市を含む18市10町村で、約510基設置している。

問 使途の調査は。

教育長 調査は行っていない。

問 条例の附則に3年を途中に検証するとなつている。どのように検証し結果はいつだすのか。

ちょっとひとりごと

新型コロナウイルスは全世界で拡散しております。手洗い、うがい、マスクを励行いたしましょう

曾於高校生各大学への進学者数(人)

	H 28	H 29	H 30
国公立大学	9	8	8
私立大学	19	12	14
国公立短大	2	3	4
私立短大	6	14	6
専修学校	60	68	50



ため池整備は早急に取り組むべきでは



さと すぎ お
迫 杉雄
(誠和会)

本議会
一般質問の様子

市長／来年度から実施の方向で
考えている



寺園の池現状

問 平成29年度からの事業の経過は。

市長 事業導入で地元説明会、全体事業費は7500万円、受益者負担は5%の346万円である。

ゆず振興

設事業費は。

市長 曾於市ゆず搾汁センター整備検討委員会を立ち上げた。

問 ゆず搾汁センターの増設はどの様に考えるか。

教育長

旧清寿園跡地を活用することにより土地購入費等が減額になり、

末吉中央公民館跡地売却については協議中である。

ゆず搾汁センターの増設はどの様に考えるか。

市長 寺園の池周辺の整備は。

市長 令和2年度、ため池ハザードマップ作成後、令和3年度から取り組む。

市長 ゆず搾汁センター移転建設場所は、メセナ食彩センター近くが良いのでは。

教育長 湯之尻交差点は事から朝夕は交通量が多い地域である。町並みもを考えるべきではないか。



県道入口旧清寿園近辺の耕作放棄地と田

市長 曾於市ゆず搾汁センター整備検討委員会で場所や規模は検討を重ね、早い時期に方向性を示し建設を計画したい。

教育長 湯之尻交差点は交通量が多いので、出入口を拡幅し、スロープの歩道を設置して、出入口の安全に努めたい。

市長 道路と高低差を低くするため、近辺の耕作放棄地を買収し、土砂を搬出して埋め立てたらどうか。

ちょっとひとりごと

公民館は多目的施設
湯之尻地区の
人の流れがかわる
まちなみづくりを！



燃ゆる感動かごしま国体の取り組みは



本議会 一般質問の様子

る。
教育長 千人くらいであ
問 選手・役員等の関係者は、どのくらいか。

教育長 令和2年9月26日と27日の2日間、末吉総合体育館で開催される。

問 本市で開催される武術太極拳の開催時期は。



武術太極拳の練習風景



給食センター予定地

市立学校給食センターの建設

問 建設場所は、どこの予定か。

教育長 末吉町諏訪方の旧鹿児島県農業改良普及所裏の市道側の農地を建設候補地として計画している。

問 敷地面積と建設予算は、いくらか。

市長 地域の畜産関係企業や団体等からなる誘致
問 産業動物疾病制御教育研究センターの誘致
問 財部高校跡地に産業動物疾病制御教育研究センター誘致の計画があるが、その後の経過は。

問 現在給食費に3分の1の子育て支援（月額1000円）の助成があるが、2分の1に増やす考えはないか。
市長 今のところ考えていない。

教育長 6073m²の農地にまだ確定ではないが、国の補助金1億5千万円、過疎債、教育施設債等を利用して、約13億5千万円かかる予定である。

市長 国の許認可が必要であり、市としてどのような協力ができるか鹿児島大学と連携して誘致に向けてこれからも協議していく。

問 実現の可能性は。

ちょっとひとりごと
みなさん
武術太極拳の応援を！



新型観光列車停車について の見解は



本議会 一般質問の様子

市長／地域活性化への大きな意義がある



大隅大川原駅と大いちょう

問 大川原峡・悠久の森への短時間の散策が可能と思われる。対応できないか。

商工観光課長 JR側から駅周辺で、カフェなどでもくつろいで頂くことができた。時間の制限があるが、確実に時間設定ができるのであれば提案していきたい。

問 散策が可能となれば大川原峡などの整備がされていない。訪れる人も販売などJR九州と協議していく。

問 本市のイベントや四季折々のパネル展示・ビデオ上映など考えられな

市長 駅舎周辺の環境整備、おもてなしや特産品

問 大川原峡・悠久の森への短時間の散策が可能と思われる。対応できないか。

商工観光課長 地元と協議して考えていく。

市長 大隅大川原駅周辺観光地や特産品のPRができれば、地域活性化の大きな意義があると思う。

問 市としての対応は。

市長 駅舎周辺の環境整備、おもてなしや特産品

問 大川原峡・悠久の森への短時間の散策が可能と思われる。対応できないか。

商工観光課長 地元と協議して考えていく。

問 JR九州の社長は、大隅大川原駅停車で地域活性化を目指すと言っている。市長の見解は。

問 本市のイベントや四季折々のパネル展示・ビデオ上映など考えられな

問 本市のイベントや四季折々のパネル展示・ビデオ上映など考えられな

問 商工観光課長 キャンプ場を含めて河川などの整備も関係課と協議して進めしていく。



ちょっとひとりごと

絶好のチャンス
積極的なPRを

問 平和教育と芙蓉部隊の存在を市内外に周知するためには資料館の設置はできないか。

市長 隣接する埋蔵文化財センターに併設できるか検討していく。

問 岩川芙蓉会の高齢化と今後の対策は。

問 市長 歴史を後世に伝えて頂く重要な団体であり、今後芙蓉会役員と保存会役員で協議していく。

問 増えると思うが。



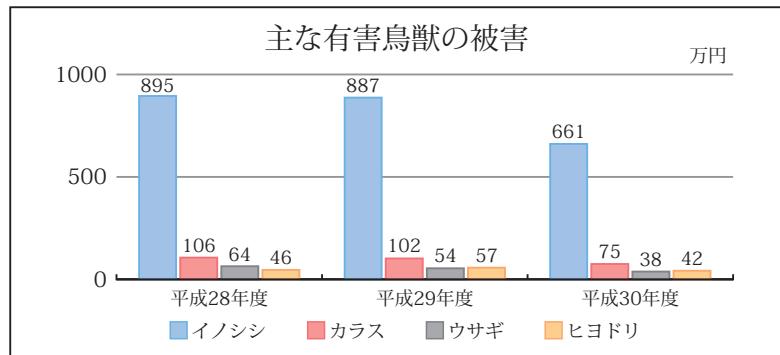
ふちあい まさあき
渕合 昌昭
(新生会)

有害鳥獣対策で安定した農業を



本議会

一般質問の様子



市長 平成28年度は約1167万円、平成29年度が約1157万円、平成30年度が、約858万円である。主な鳥獣の被害は次のとおりである。

問 有害鳥獣による農作物の被害額は。

市長 甘藷、野菜、飼料作物及び稻が主な作物である。

問 被害作物は。

市長 今後、市として有害鳥獣対策の計画は。

市長 次のとおりである。

市長 電気柵設置補助、狩猟免許取得補助、駆除隊への有害鳥獣捕獲・活動に対する補助、箱ワナの貸し出し等を行っていく。また、現在有害鳥獣駆除隊が4駆除隊あり、今後連携強化し、組織の一本化を図り、駆除対策に取り組んでいく。

問 ふるさと納税過去3年間の実績は。

農林振興

市長 長雨等で水稲、春・夏野菜等で影響があつ

問 令和元年農作物の長雨被害状況は。

年 度	寄付額	経 費	差 額
平成 29 年度	10 億 3 千万円	7 億 1 千万円	3 億 2 千万円
平成 30 年度	16 億 9 千万円	12 億円	4 億 9 千万円
令和元年度	19 億 2 千万円	10 億 7 千万円	8 億 5 千万円

※令和元年度は見込額

ちょっとひとりごと

イノシシさん
田・畑を荒らさないで

市長 霧島酒造が昨年産から2割減反。本年も2割～3割の減反が予想される。

問 甘藷の生産調整が続いているが代わりの農作物は。

た。水稻の作況指数は92であり、品質も1等比率が53・7%であった。



人口増対策・宅地分譲は



市長／大隅坂元地区分譲販売ゼロ

本議会

一般質問の様子

問 企業誘致の実績は。

市長 末吉柳迫地区は完売。大隅南地区は1区画販売。大隅坂元地区は売っていない。財部地区分譲計画は、令和2年度に先送りした。

問 宅地分譲整備事業の成果・課題は。



市長 工場増設による補助金を3社に交付する。

問 大隅町笠木のアヤベ跡地は購入したか。

本庁増築計画の変更

問 昨年2回の市民説明会を7月～12月に開催

問 大幅な工事費増に議場建設が含まれるのであれば反対である。市民に受け入れられない。

説明会では本庁増築費は、面積1,800m²・約11億3千万円と説明しているが、今回の説明では、

八木副市長 跡地の山林が崩壊しているので、復旧工事が完了後に購入したい。県による復旧治山事業、1億5千万～2億円を予定している。

面積が500m²、金額が45%増の16億4千万円に増えている。短時間で大きく増えたのは、市民に開かれた市政を目指すと言いながら遺憾である。

問 ホテル誘致はあるか。

市長 神奈川県のアポロホールディングスと協定を結ぶ予定であったが、延期になつていて。建設予定地は、メセナ温泉隣接地としている。

市長 この様な事態になり、お詫びする。今後事業費の削減に努力していく。

問 議場を増築部分に作る予定か。

市長 議会側からの要望があれば作る。

末吉本庁舎増築計画

	面積(m ²)	金額(万円)
当初計画	1,800	11億3千
今提示回計画	2,300	16億4千
増額	500	5億1千

市長 議会側で検討していただきたい。

ちょっとひとりごと

住みたい魅力ある分譲地を提供しよう



市役所再編で大隅・財部の市民サービスは低下しないか



市長／市民サービスは低下しない

本議会
一般質問の様子

市長 低下はしない。大隅・財部支所は、地域振兴と証明書の発行など窓口サービスに特化し、市民

問 教育委員会・福祉事務所・農業委員会を本府に集約することで、大隅・財部の市民サービスは低下しないか。



財部支所 (昭和 41 年建築)

大隅支所 (昭和 33 年建築)

問 財部高校跡地利活用

市長 本府舎増築部分は鉄骨造り、大隅・財部支所は木造を考えている。

問 高齢者の交通手段確保

市長 有効な施設整備補助金の確保や地方創生関係事業の推進が考えられる。

市長 令和2年度は、増改築部分の基本設計、造成工事等。令和3年度は増築工事等。令和4年度は外構工事や駐車場整備等を計画している。

市長 財源確保等クリアすべき課題は何か。

市長 サービスの向上を図りたい。センター誘致で、どのような効果を考えているのか。

市長 センター誘致で、どのような効果を考えているのか。

市長 越境して運行する場合は運行車両の増が必要となり、現実的には困難であると考える。

本府・支所機能再編は大隅・財部の市民サービスを守ることが大事です

ちょっとひとりごと



三町均衡ある発展で町づくり
を図る（合併時の協議内容）
を忘れるべからず！



本議会 一般質問の様子

市長／市民の声を聞くため更に努力
したい

「本庁・支所機能再編計
画の組織再編（抜粋）」
現在財部支所にある福
祉事務所、農業委員会
員会を末吉本庁に集約
する。

市長 大隅・財部地区の
支所地域の振興について
は、本庁方式導入後、期
間を定め、支所地域振興
に係る特定の事業を拡充
し、地域特性を生かした
事業や関係団体の支援を
実施していく。

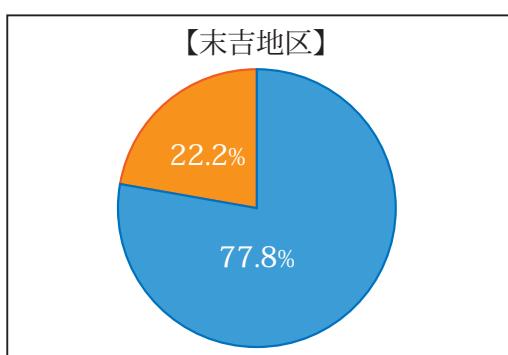
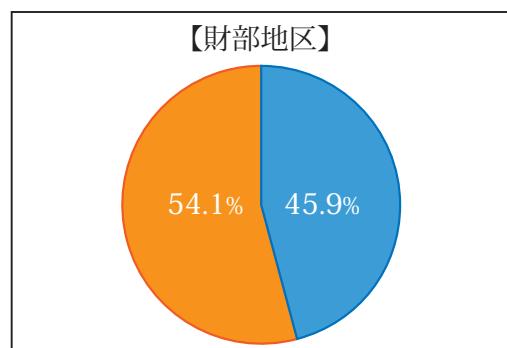
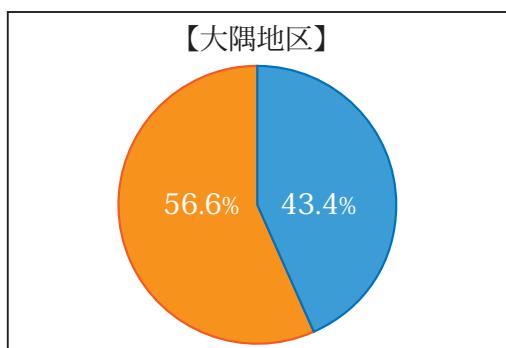
問 本庁・支所機能再編
計画で、旧3町の均衡あ
る発展に努めていくとあ
るが、具体的にどのように
町づくりを考えている
のか。

※住民自治とは・・・
地域における行政を行
う場合、その自治体の住
民の意思と責任に基づい
て行政を行うことを原則
とする。

問 先般行われた市民ア
ンケート調査・パブリッ
クコメントは、地方自治
法の本旨である『住民自
治』をまっとうしている
と思うか。

市長 市民の意見を聞く
ため、アンケート調査、
地域住民説明会、パブ
リックコメントを行って
きた。完璧だとは思つて
いない。

市民アンケート調査より（■一部分庁方式が良い ■本庁方式が良い）



ちょっとひとりごと

財部地区の町づくり
から福祉事務所だけ
は残すべきではない
か

■本庁方式・・・福祉事
務所、農業委員会（財部）、教
育委員会（大隅）は現在のま
ま

議会報告会のお知らせ

「議員と語ろう会」を開催します あなたの声を聞かせてください

参加は自由です。どなたでもお気軽にお越しください。

市議会では、市民の皆さんに議会の活動を報告し、皆さんの声をお聞きし、今後の議会活動に活かすため、議会報告会を開催いたします。

『議員と語ろう会』と題して「市役所支所の再編について」と「地域活性化について」をテーマに皆さんと語り合いたいと思います。

☆開催日時 令和2年7月5日（日）午後1時30分～

☆会場及び班構成

実施班	会 場
1班	大隅中央公民館3号室
2班	財部中央公民館第3研修室
3班	末吉総合センター会議室

※新型コロナウイルス感染症のため、
延期・中止になる可能性があります。

☆内 容

- ・テーマに沿って、曾於市の現状や将来について、参加者と議員で語り合います。
- ・その他、政策や議会に対する意見・要望等を聞き、今後の議会活動に活かします。



テーマについてのご質問等ございましたら、別紙質問書『あなたの声をきかせてください』にて議会事務局まで提出いただきますようお願いいたします。

【5月29日（金）までにご提出ください】

《問い合わせ先》曾於市議会事務局 TEL 0986-76-8816（直通） FAX 0986-76-8901



曾於市議会では定例会の様子をインターネットによるライブ中継や録画放送を行っています。

曾於市ホームページより『議会映像配信』をクリックしてください。

※アドレス <https://www.city.soo.kagoshima.jp/> 曾於市ホームページ

夢チャレンジ

曾於市の農産物と 豊かな自然に魅せられて



あきさん・茉帆ちゃん・成巳さん

曾於市議会だより

南竹さん一家は、平成30年夏に鹿屋市から移住してきました。大川原団地を選んだ理由は自然の素晴らしさと、空港・駅へのアクセスの良さだったそうです。

亜紀さんは、たからべ森の学校で農業と農産加工を学びました。現在地域の方々に支えて貰いながら「五粒に種」の屋号で起業し、高齢化している地元の直売所に野菜や加工品を少しづつ出荷しています。また曾於市を好きになってもらうために農業や自然での遊びを組み込んだ体験ツアーも企画運営しています。

作業療法士をしていた亜紀さんは、「将来は障がい者・児の就労支援施設をつくり、野菜を育てそれを加工販売して、生きがいをみつけてほしい。そしていっしょに働く人を増やして曾於市に住んでほしい」と夢を膨らませています。 (松ノ下)

新年度が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響で世界的に大変な状況です。月野校区の有志と岩川交番の警察官や安心安全のメンバーで、このままじつとしているのは情けないと看板業を営む柴勝昭さんの協力を頂き、本市の皆さんを始め、多くの人に元気を与えるとの思いから看板設置を企画しました。月野の八合原交差点から松山町に向う県道沿いにあります。ぜひ見て元気を出しましょう。「みんな元気だそお」ス

(岩水)



新学期から学校も再開され、新型コロナウイルスの重症化を防ぐ治療薬も臨床試験中といふ報道があります。一日でも早い感染症の終息と平穏な市民生活が戻ってくることを願っています。

(今鶴)

議長
土屋
健一
発行責任者
議会広報等調査
特別委員会
委員長
副委員長
員
今鶴
岩水
鈴木
重久
松ノ下
いづみ
昌昭
昌樹
栄一
治信
豊



表紙によせて

編集後記

私たちが
作っています
いろんなご意見を
お聞かせ下さい。

私たちが
作っています
いろんなご意見を
お聞かせ下さい。

発行／編集
鹿児島県曾於市議会
〒899-8692
鹿児島県曾於市末吉町二之方19900

TEL 0986-76-8816
FAX 0986-76-8901
Eメール gikai@city.sool.g.jp